上映スケジュール Calendrier

同志社大学寒梅館 ハーディーホール

4.17（水）	**16:30**	開場
	17:00	ガーゴイル Trouble Every Day（100分）
	19:00	パリ、**18**区、夜。 J'ai pas sommeil（109分）

■ 料金（各回入替制）：一般**1500**円、シニア**1100**円、会員（**Hardience**、シネ・ヌーヴォ、出町座、クラブ・フランス）・学生**1000**円
＊同志社大学学生・教職員は無料

同志社大学 今出川校地学生支援課
京都市上京区御所八幡町103
☎075-251-3217（ホール担当）／http://d-live.info/
市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車。
2番出口より北へ徒歩約2分
＊駐車場・駐輪場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

出町座

4.6（土）	**16:20**	ウルトラ・レーヴ Ultra Rêve（82分）
4.7（日）	**16:20**	ソフィア・アンティポリス Sophia Antipolis（98分） 上映後、ジュリアン・ジェステールと 日本の批評家によるラウンドテーブル
4.8（月）	**16:20**	海辺の恋 L'Amour à la mer（73分）
4.9（火）	**16:20**	切られたパンに Au pan coupé（71分）
4.10（水）	**16:20**	ポール・サンチェスが戻ってきた！ Paul Sanchez est revenu !（101分）
4.11（木）	**16:20**	地上の輝き Le Clair de terre（102分）
4.12（金）	**16:20**	ジェシカ Jessica Forever（97分）

■ 入場料金：一般**1500**円、シニア**1100**円、会員（シネ・ヌーヴォ、出町座、クラブ・フランス）・学生**1000**円 ■ チケット販売開始時間：当日開館時より販売。＊当日券のみ。前売券の販売はございません。＊受付カウンターにて座席指定をしていただきます。

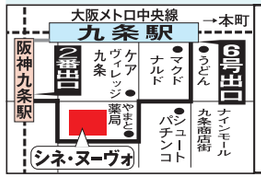
出町座
京・上京区三芳町133
☎075・203・9862
demachiza.com
出町柳駅より徒歩5分／今出川駅より徒歩10分

★この企画は以下の都市にも巡回します★
東京 **3.9**［土］～**4.21**［日］＠アンスティチュ・フランセ東京
横浜 **5.18**［土］・**6.29**［土］＠東京藝術大学 横浜馬車道校舎
La circulation de ce programme est prévue :
Tokyo : du 9 mars au 21 avril à l'Institut français du Japon - Tokyo
Yokohama : le 18 mai et le 29 juin à l'Université Geidai

シネ・ヌーヴォ

4.6（土）	**16:30**	切られたパンに Au pan coupé（71分） 上映後、ジュリアン・ジェステールのトークショー
4.7（日）	**18:25**	ジェシカ Jessica Forever（97分）
4.8（月）	**18:25**	勤務につけ！ Au poste !（73分）
4.9（火）	**18:25**	海辺の恋 L'Amour à la mer（73分）
4.10（水）	**18:25**	ワイルド・ボーイズ Les Garçons sauvages（110分）
4.11（木）	**18:25**	シェエラザード Shéhérazade（112分）
4.12（金）	**18:25**	地上の輝き Le Clair de terre（102分）

■ 入場料金：一般**1500**円、シニア**1100**円、会員（シネ・ヌーヴォ、出町座、クラブ・フランス）・学生**1000**円【インターネットチケット販売スタート】ご鑑賞の**8**日前よりインターネット・劇場窓口で日時指定の整理番号付きチケット販売を開始。詳しくはお問い合わせください。 ■ 期間中連日**10**：**20**より当日チケット販売＊当日券のみ、前売券の販売はございません。＊整理番号順でのご入場・全席自由席



シネ・ヌーヴォ
大阪メトロ中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分
TEL.06-6582-1416
http://cinenouveau.com/

第1回 映画／批評月間 フランス映画の現在をめぐって in 関西
［**主催**］アンスティチュ・フランセ日本［**共催**］シネ・ヌーヴォ、出町座、同志社大学今出川校地学生支援課［**助成**］アンスティチュ・フランセパリ本部、ユニフランス［**アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム オフィシャル・パートナー**］CNC、笹川日仏財団、TV5 MONDE［**フィルム提供及び協力**］シネマテーク・フランセーズ、エチェ・フィルム、ゴーモン、国立視聴覚センター、株式会社クロックワークス、ロブスター・フィルム、MK 2、プレイタイム、トランスフォーマー、ワイルド・バンチ［**特別協力**］Bart.lab
Mois de la critique – nouveaux rendez-vous du cinéma français organisé par l'Institut français du Japon ; **coorganisé par** Ciné Nouveau, Demachiza et Université Doshisha ; **avec le soutien de :** Institut français, Unifrance, CNC, Fondation Sasakawa, TV5 MONDE ; **Merci à** Bart.lab, la Cinémathèque francaise, Ecce Film, Gaumont, INA, The Klockworx, Lobster Films, MK2, Playtime, Transformer, Wild Bunch

お問い合わせ Renseignements

I アンスティチュ・フランセ関西 – 大阪
大阪市北区天神橋2-2-11 阪急産業南森町ビル9F
☎06-6358-7391 kansai.osaka@institutfrancais.jp

I アンスティチュ・フランセ関西 – 京都
京都市左京区吉田泉殿町8
☎075-761-2105 kansai@institutfrancais.jp

INSTITUT FRANÇAIS　CNC　TV5MONDE　UNIFRANCE　GH MUMM　WOT

Shéhérazade de Jean-Bernard Marlin

mois de la critique
映画／批評月間

《フランス映画の現在をめぐって》in関西
Nouveaux rendez-vous du cinéma français
Vol.01

2019 KANSAI

4.6土 ▸ 4.12金, 17水
du 6 au 12 avril et le 17 avril 2019

シネ・ヌーヴォ、出町座、
同志社大学寒梅館ハーディーホール
à Ciné Nouveau, Demachiza,
Université Doshisha Kambaikan Hardy Hall

企画協力 Programme conçu avec
ジュリアン・ジェステール（「リベラシオン」文化部チーフ）
Julien GESTER, chef de service Culture à *Libération*

ゲスト Invités
荏開津広 Hiroshi EGAITSU
海老根剛 Takeshi EBINE
北小路隆志 Takashi KITAKOJI
廣瀬純 Jun HIROSE

INSTITUT FRANÇAIS アンスティチュ・フランセ関西 Japon・Kansai
vivre les cultures

これまで20年近く、映画雑誌「カイエ・デュ・シネマ」とともにフランス映画の現在を紹介してきましたが、今年より新たに「映画／批評月間〜フランス映画の現在をめぐって〜」と題して、同雑誌を含むより多くのフランスのメディア、批評家、専門家、フェスティバルや文化施設のプログラマーらと協力し、最新のフランス映画を選りすぐり、ご紹介します。初回を飾る今年は、フランス日刊紙「リベラシオン」の映画批評家であり、同紙文化部チーフ、ジュリアン・ジェステールを迎え、同氏と共に、SF、刑事もの、コメディ、アクション、エロス、青春ものと、新世代、あるいはベテランの作家たちがこれまでになく様々なジャンルに果敢に挑んでいるフランス映画の現在を紹介します。

Hommage à Claire Denis
《クレール・ドゥニ特集》

最新作の『ハイ・ライフ』はドゥニが数年かけて準備してきた念願の企画であり、彼女にとって初のSF映画、初の英語作品。ロバート・パティンソンやジュリエット・ビノシュ、ミア・ゴスといった国際的スターが出演し、2018年9月にトロント国際映画祭で世界初上映されました。つねにあらたなジャンル、スタイルを追求しながら、人間の奥深くにある欲望、暴力性、愛の形などをときに瑞々しく、ときに生々しく、ときに禍々しくスクリーンに映し出し、観る者たちを魅了してやまない映画作家クレール・ドゥニを特集します。
＊『ハイ・ライフ』4月19日(金)より、ヒューマントラストシネマ渋谷ほか全国順次公開（配給：トランスフォーマー）

パリ、18区、夜。 J'ai pas sommeil

［フランス／1994年／109分／カラー／35mm／フランス語／日本語字幕］
出演：カテリーナ・ゴルベワ、ベアトリス・ダル、アレックス・デスカス
女優をめざしリトアニアからパリにやってきた若い娘ダイガは安ホテルに下宿し、そこで清掃の仕事をしている。そのホテルで暮らすアフリカ系移民のカミーユはゲイ・クラブでダンサーをしている。時を同じくしてパリでは老女を狙った連続殺人事件が起こっていた。人種と社会の坩堝であるパリ18区で様々な人生、運命、フィクションが交錯する。

ガーゴイル Trouble Every Day

［フランス／2001年／100分／カラー／35mm／フランス語／日本語字幕］
出演：ベアトリス・ダル、ヴィンセント・ギャロ、トリシア・ヴェッセイ
アメリカ人研究者のシェーン・ブラウンは、新妻のジューンを伴い、ハネムーンでパリにやって来る。しかし、シェーンはなぜか妻を抱こうとしない。一方、パリ郊外の屋敷で監禁されながら暮らす女性コレ。部屋の鍵を壊しては夜の街をさまよう彼女の行動に夫は心を悩ませていた。

BEST-OF 2018
《ベスト・オブ 2018》

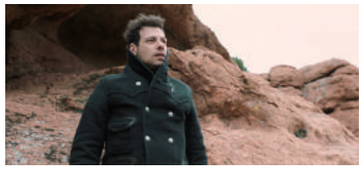
Libération

ジェシカ Jessica Forever de Jonathan Vinel et Caroline Poggi

［フランス／2018年／97分／カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
監督：キャロリーヌ・ポギ＆ジョナタン・ヴィネル　出演：アオミ・ムヨック、ゼバスティアン・ウルツェンドウスキ
ディストピア的世界で、ジェシカは孤立し、愛情を知らず怪物になってしまった子どもたちを救い、彼らと家族となり、生き残る権利を得られる世界を作り始める。ジェシカはゲーム『メタルギアソリッドV』のクワイエットから着想を得ている。期待の監督コンビ、ポギ＆ヴィネルの長編処女作をフランス公開に先駆けて特別上映！

ソフィア・アンティポリス Sophia Antipolis de Virgil Vernier

［フランス／2018年／98分／カラー／デジタル／フランス語・英語／日本語字幕］
監督：ヴィルジル・ヴェルニエ　出演：ドゥイ・キュネツ、ユーグ・ンジバ=ムクナ、サンドラ・ポワトゥ
ソフィア・アンティポリス、それは地中海と森、山の間にある不思議な場所。眩いばかりの陽光の下、男も女も生きる意味を、社会的繋がりを、共同体を探している。彼らはいつのまにか失踪した一人の若い女性の運命と交錯していく。
「コートダジュールの太陽と遅れてきた資本主義の凍りつくような炎に焼き尽くされた超現実主義的ホラー映画」



ポール・サンチェスが戻ってきた！ Paul Sanchez est revenu! de Patricia Mazuy

［フランス／2018年／101分／カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
監督：パトリシア・マズィ　出演：ローラン・ラフィット、ジタ・オンロ、フィリップ・ジラール
10年前に失踪した犯罪者、ポール・サンチェスが、プロヴァンス地方のレ・ザルクで目撃されたという。誰もそのことを本気にしなかったが、若い憲兵のマリオンは違った…。「まるでラオール・ウォルシュの映画に見られるような広大な世界。ある人物の狂気が拡散していくとともに物語が展開し、やがてその狂気は集団の中へと波及していく」

勤務につけ！ Au poste de Quentin Dupieux

［フランス／2018年／73分／カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
監督：カンタン・デュピュー　出演：ブノワ・ポールヴールド、アナイス・ドゥムースティ、グレゴワール・ルディッグ
舞台はとある警察署。ブロン捜査官は、血まみれで見つかった男の殺人事件の調査を担当し、遺体を発見したフガンという男を第一容疑者として取り調べる。記憶と現実、虚構が混ざり合っていく……。フレンチ・エレクトロ・ムーブメントを代表するアーティストであり、映像作家でもあるミスター・オワゾことカンタン・デュピューの6本目の長編。

※作品紹介中の批評の引用はすべて「リベラシオン」紙より

シェエラザード Shéhérazade de Jean-Bernard Marlin

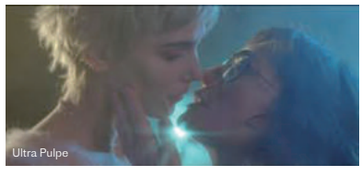
［フランス／2018年／112分／カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
監督：ジャン=ベルナール・マルラン　出演：ディラン・ロベール、ケンザ・フォルタス、イディール・アズグ
刑務所から出所したばかりの17歳のザカリは、マルセイユの下町でシェエラザードという名の少女と運命的な出会いをする…。2019年セザール賞有望若手女優、有望若手男優、新人監督作品賞を受賞。「最近、若手のフランス映画作家たちが精力的に、クレイジーな試みに乗り出しており、マルランの作品はその証となる一本である」

ワイルド・ボーイズ Les Garçons sauvages de Bertrand Mandico

［フランス／2018年／110分／モノクロ＆カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
監督：ベルトラン・マンディコ　出演：ヴィマラ・ポンス、ポリーヌ・ロリラール、ディアンヌ・ルクセル、エリナ・レーヴェンソン
20世紀初頭。良家出身の5人の少年はある卑劣な罪を償うため謎の船長に預けられ、過酷な航海の旅へと連行される。快楽を与えてくれる幻想的な植物が生い茂る無人島に座礁した少年たちの身体はしだいに変異していき、セクシュアリティーの境界線が溶けていく…。デジタルトリックに一切頼らない、驚くべき造形の美しさも見所のひとつ。

ウルトラ・レーヴ Ultra Rêve

［フランス／2018年／82分／カラー／デジタル／フランス語／日本語字幕］
カンヌ国際映画祭ほか数多くの映画祭で上映され、話題をよんだ気鋭の若手監督による3作の短編作品が『ウルトラ・レーヴ』というタイトルで一本にまとめられたオムニバス作品。『アフター・スクール・ナイト・ファイト』は16ミリ、その他の2本は35ミリで撮られている。
「甘美なほどに過激、ピリッとしていて、ネオ・バロック的作風が光る3本の短編集には、様々な記憶、ポップ・カルチャーへのオマージュ、セクシュアリティーの破片が満ちている」



・アフター・スクール・ナイフ・ファイト After School Knife Fight de Caroline Poggi, Jonathan Vinel
監督・脚本・音楽：キャロリーヌ・ポギ＆ジョナタン・ヴィネル／21分

・アイランズ Les Îles de Yann Gonzalez
監督：ヤン・ゴンザレス／23分

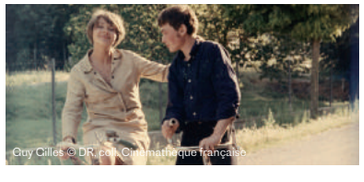
・アポカリプス・アフター Ultra Pulpe de Bertrand Mandico
監督・脚本：ベルトラン・マンディコ／37分

Rétrospective Guy Gilles : un cinéaste retrouvé
《ギィ・ジル：見出された映画作家》

ギィ・ジル（1938-1996）：アルジェリアの首都アルジェ生まれ。子供の頃より映画ファンで、20歳で13分の美しい処女短編作品『消された太陽』を監督。アルジェリア戦争下の1960年、パリへ移住。ピエール・ブロンベルジェの援助により、何本か短編を監督し、その中の『Au biseau des baisers』を気に入ったジャン=ピエール・メルヴィルから援助を受け、初長編の自伝的作品『海辺の恋』を3年がかりで製作、ロカルノ映画祭で批評家賞を受賞。長編2作目『切られたパンに』（67）にはマルグリット・デュラスらから賛辞の言葉が寄せられる。3作目『地上の輝き』（70）はイエール映画祭グランプリ、4作目の『反復される不在』（72）はジャン・ヴィゴ賞を受賞。生前にはあまり理解されず、つねに孤立していたギィ・ジルの作品は、2003年にラ・ロシェル映画祭で特集が組まれ、再評価の機運が高まり、2014年にシネマテーク・フランセーズで全作回顧上映が開催され、フランスを始め、世界各地で徐々に発見され、評価が高まっている。

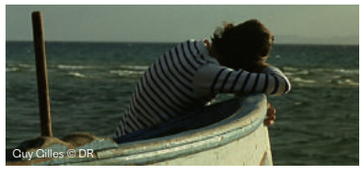
海辺の恋 L'Amour à la mer

［フランス／1963年／73分／カラー＆モノクロ／デジタル／フランス語／日本語字幕］
出演：ジュヌヴィエーヴ・テニエ、ダニエル・ムスマン、ギィ・ジル、シモーヌ・パリ、ジャン=ピエール・レオ
パリに住む若い女性はヴァカンスに訪れた海辺の美しい街ドゥーヴィルで海兵に恋をする。しかし秋が来て、男は駐屯地に戻らなければならず、ふたりは離れ離れとなる。手紙を綴り、いつの日か再会することを待ち望みながら、男はブレストで、女はパリでそれぞれの生活を送る。



切られたパンに（オー・パン・クペ） Au pan coupé

［フランス／1967年／71分／カラー＆モノクロ／デジタル／フランス語／日本語字幕］
出演：パトリック・ジュアネ、マーシャ・メリル、ベルナール・ヴェルレ
ジャンヌはかつての恋人を思い返し、そして今もその恋を生きている。ジャンは15歳で少年院に入り、既成秩序に反抗し、ブルジョワ的な世界もビート族たちの世界も拒否して死んでいった。彼の死を知らないジャンヌには、つねにジャンが亡霊のように寄り添っている。



地上の輝き Le Clair de terre

［フランス／1969年／102分／カラー＆モノクロ／デジタル／フランス語／日本語字幕］
出演：パトリック・ジョアネ、エドウィジュ・フィエール、アニー・ジラルド、ミシェリーヌ・プレール
チュニジア生まれで、母の死まで幼年期をその地で過ごしたピエールは現在、パリのマレ地区、ロジエール通りに父親と住んでいる。突如、パリを離れる必要を感じたピエールは再びチュニジアの首都チュニスに向かう。そこでかつての教師に導かれ、自分の過去の形跡を辿っていくことになる。